



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。



谷戸に湿り気が戻る春を待っています

土嚢積み

炭焼き窯裏 修復作業

東日本に顕著な乾燥続きの冬でしたが、たった1回の秋の大雨で崩れた土手の修復に、農閑期は忙しい雑木林管理班が大わらわとなりました。(4p参照)

お知らせ

里山探検隊

申し込み受付 3/20 より
10時からホームページ
申込フォームにて



農体験や谷戸の遊びをします
★小学生以上(会員)対象
★活動時間 10:00~13:00
★全6回通年参加できる方

オリエンテーション 4/12(日)10:00~

会場 管理棟2階 研修室
申し込み・お問い合わせは
メール、電話にて

谷戸塾

田・畑・雑木林管理の保全作業、講座(観察会や農芸体験など)で、谷戸保全を学びます。

春の谷戸まつり 4/25(土)10:00~13:00

場所: 野外生活体験広場

荒天中止の場合はHPでお知らせします
炊き出しコーナー 谷戸鍋・お焼き・麦茶
販売コーナー 米・わら・薪・麦わら細工など
体験コーナー ノコギリ体験・和紙作りなど

食器をご持参ください!



昨年秋からの水不足が続き、1月は雨が降りませんでした。2月になっても雨が少ない状態で、谷戸が乾燥しています。2月22日～23日にかけて春一番の南風が吹き荒れ、春のような陽気になりました。

●1月から2月の谷戸でよかったこと心配なこと

よかったこと 北日本が記録的な大雪になったせいか、1月から2月にかけて、野鳥（冬鳥と呼ばれる渡り鳥）が少しずつ雪のない鎌倉に移動してきたようです。12月には少なかったアオジやシロハラ、シメが週ごとに多くなってきました。また、数年ぶりにヤマシギを見ることができました。ウソやトラツグミなど毎年見られるとは限らない、やや珍しい冬鳥も谷戸に来ています。



シメ



トラツグミ

心配なこと 雨が降らないために、田んぼや湿地の乾燥状態が心配です。昨年夏以来の田んぼのひび割れが続いています。ヘイケボタルが生息している湿地も水がなく、今年のヘイケボタルの数が減少するのではと危ぶまれます。同じ原因で、アカガエルの産卵がとても遅れてます。いつもヒキガエルが産卵するはずの湿地が干上がってしまい、これでは産卵場所の整備もできない有様です。冬に来る野鳥が増えているにも関わらず、いつもやって来るはずの、カシラダカやカワラヒワ（いずれもスズメに似た小鳥）の群れを見かけません。市内全域で同じ状況です。

●谷戸の林 40年前と今 その2

40年前は、クヌギやコナラの雑木林が荒れると、シノキやカシの常緑樹林になるから、常緑樹を切って、アオキやササなど下草を刈るのが雑木林の手入れと言われていました。今も基本は同じか



カワラヒワ

もしれませんが、常緑樹が増えること以上に、木が大きくなりすぎて倒れやすくなっているのが問題です。この40年にクヌギやコナラは巨木となり、その下に常緑樹が待機している状態が続いています。次に、一見、雑木林のようでも、コナラより、イヌシデやミズキ、エノキなど、本来は雑草あつかいにされていた落葉樹の方が優勢な林が多くなっています（疎林広場に上る道の斜面など）。これはクヌギやコナラの雑木林の更新の失敗（伐採後の放任による手入れ不足）と言われています。手入れのやりがいのある、昔の面影を残す雑木林（炭焼き小屋の裏など）は少ないように感じます。また、アオキは、切ってもすぐに生えてきますが、腐葉土が多い土を好むと言われています。下草を刈るだけでなく落ち葉かきをしないと、昔の雑木林にはもどらないのかもしれない。谷戸の林の現状を考えると、昔の里山にもどすというより、新しい考え方も必要かもしれません。

各班のお知らせ

田んぼ班



夏の湯水でひび割れた田んぼを修復したいのですが、なんと、冬も湯水で1月に雨が降ったのは、たった1日。田んぼに水がたまず、今のところ様子見です。今年度は、台風も少なく、総降雨量が異常に少ない気がします。



1/11 東谷戸貯水計画

畑班



高温少雨を前提とした作付け計画を立てる必要がある。中でも少雨の影響が一番出るさといもは、これまで続けてきた田の脇での栽培をあきらめて、水が補給できる西の畑にすべて植え付けようかと思っている。

雑木林管理班



1月に雑木林を調査・測定し、昨年と比較して少しずつ生長していることを確認しました。間伐、および草刈りした材や草は、谷戸活動全体に渡って活かされます。春先には薪も作る計画です。



1/23 大根の天日干し・谷戸のたくわん漬け

農芸班



8月下旬、畑班が十分に耕した畑に大根の種を蒔きました。12月に立派に育った大根を抜いて2週間の天日干し。1月に米めか等とともに25年来のレシピで漬け込みました。一斗樽にたっぷり「谷戸のたくわん」が出来上がりました。

生態系保全班



待望のアカガエルが産卵しました。3年前の保護個体が成長し、里帰りした小ぶりの卵塊と思われます。今年も保護に努めます。また、インセクトホテルのメンテも開始。どんな虫が利用するか楽しみにお待ちください！



2/18 カエルの卵の観察

植物育成班



野湿地の手入れは今が正念場です。新芽が顔を出す前に作業を終えることで、アシの更新を助け、繊細な湿地植物の芽生えを守ることができます。踏み付けによる損傷を防ぎ、豊かな緑を繋ぐため、今月の活動が肝心です。

自然遊び班



「収穫祭」★おもちをついたり、みそをといったりいろんなことができて楽しかったです。大根がし字カーブでびっくりしました。(小4)★豆をすりつぶすのが大変だったけど、おいしかったから良かった。(小5)

谷戸の生きもの

クズに集まる虫たち

クズはたちの悪い雑草として扱われることが多いが、虫たちには人気がある。マメ科で栄養があるのかな。以前紹介したコフキゾウムシは常連さんで、葉の縁をぐるりとかじるのでクズは観葉植物のようになる。クズノチビタマムシは有名な美麗種タマムシの仲間です。十分の一ほどの大きさ（3～4 mm）だが、頭部と胸部に金色の毛があって独特の美しさがある。数は多いが日中は人目をばばかって隠れている。クズの葉を端や途中からジグザグに食べ進むので独特の食痕となる。一つの葉が両種に食べられていることも多い。写真（コフキゾウムシ及びクズノチビタマムシによる食痕）を見て判別できたら上級者だ。（何の？）クズクビボソハムシは2024年に谷戸に侵入してきた外来種。中国原産で2018年に東京で確認され、その後瞬く間に分布が拡大した。圧倒的な食欲に驚くが、こうでないと大陸では生き残れないのだろうね。もう一種カナブンを忘れるわけにはいかない。今も昔も樹液にたくさん集まり馴染み深い昆虫だが、長らくその生態が不明だった。ある時昆虫写真家が偶然？幼虫がクズの群落の下でその腐葉土（地上に積もった）を食べていることを発見した。それは今からわずか十数年前のこと。それまで多くの人が人工繁殖を試みても失敗していたのだ。ちなみに私がシャトラーゼ（スイーツの名店）を知ったのは今からわずか2年前のことだ。（たのくろまめお）



谷戸往来

寄付をいただきました

2025年度、以下の方に寄付をいただきました。谷戸保全活動に有効に使わせていただきます。ありがとうございます。（敬称略） 蛭名喜代作 岡野万里 岡村静子 金成加奈子 黒川美加 佐治哲夫 鈴木崇史 田中たかね 田中敏恵 中原文恵 藤本実太郎 堀江典子 町田綾 安田紀代子 山本勝久

賛助会員・賛助団体会員

（敬称略） 新谷直人 粟野美佐 稲井史 大野兼司 加藤純子 小林輝代 佐藤礼子 白井智子 杉本有里恵 早乙女千博 館鼻靖美 坪井玲子 野田真紀子 端山啓子 星野彩子 本間千明 丸山真美 水澤麻美 山本真嗣 鎌倉遊び基地ふかふかLargo かまくら冒険遊び場やまもり グループホーム華花 染谷恵 小袋谷囃子会 田中徹 なかよし会 にこにこ会 森のきょうしつのはな やんちゃお

虹の子作業所

長机、工具をいただきました。さっそく活動に活かされています。

やまもり開催

「出張！冒険遊び場」

2/23(祝・月)

竹細工(箸、コップ作り)、ドラム缶でたき火、素材を集めて工作をしました。カエルの産卵時の鳴き声を聞いたり卵を見たり、谷戸らしい体験もできました。

地域食堂みんなのちゃぷ台

うるち米を3キロ寄付しました。この日は、旬の大根を入れたカレーライス。おなかいっぱい食べてもらいました。他にも「にじニコ食堂」「みんなの居場所ふかさわ地域食堂」にも、米や野菜を寄付しています。



炭焼き窯補修作業の前に

12/28(日)、1/11(日)

鎌倉市と協働で1997年から建設した炭焼き窯は、数回の炭焼き実施の後、近隣の苦情により2006年に中止となりました。今や遺跡と化した窯を保護する屋根を支える支柱が腐ってきたので、補修が必要と検案していた矢先、裏の土手が崩れたため、その修復が優先となりました。老いも若きも総出で土を削り、土に還る素材の高価な土臺に詰めて、とりあえず難を逃れる策をとりました。（詳細は次号掲載予定）

体験学習

深沢小5年 収穫祭 12/22

★自分はお米炊きをやって、お米をふっくらほかほかに仕上げた。お味噌汁もおいしかった。

★落ち葉をかくだけじゃなく、落ち葉を積んだり、運んだり、落ち葉を持ち上げたり、いろいろなことをやりました。特に、落ち葉を持ち上げるのが一番大変でした。腰が痛くなったりしたからです。

★野菜を洗ったり、切ったりするのは大変だった。でもみんなと協力して作るのが楽しかった！

★自分で料理を作ったり、今の六年生が作った味噌で料理を作ったりと、気持ちを受け継いでいくとすごく料理が美味しく感じた。家でも味噌を作ったり料理をしてみようと思うきっかけになった

★米の一粒一粒大事だと思いました。

★実際に手を使って田んぼで作業することで、普段はなかなか感じられない自然との繋がりを感ずることができる点が好きですね。

★働いた後に食べたご飯は美味しい。

★これまでの仕事の苦勞と大変さで余計にお米が美味しく感じた。

★いつも当たり前のようにお米を食べて居たけど、お米を食べるには誰かが苦勞して作られているというのをこれまでの谷戸の経験で分かった。

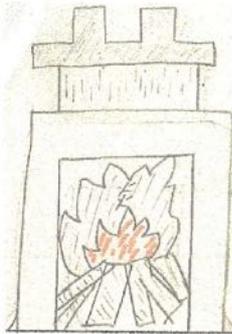
★味噌作りで、大豆をどんどん潰せて気持ちよかった。田んぼに、わらまきをしたときは、田んぼやお米に感謝してわらをもてといわれたので、ありがとうという気持ちでまいてみた。



植木小5年 収穫祭 2/5

★作業はものすごくたいへんでした。やとのちかくのおかでウマの手をつかい、おちぼを集める作業をしました。たいへんでしたがそれいじょうに、みんなで食べた米や味噌がとてもおいしかったです。

★私は米をたくAグループでしたが、一粒でもこぼしたらひろわないといけないし、米をとぐ時も、しっかり水を抜かないといけなかったの、改めて米の大切さを心に刻みました。



★ご飯炊きでは、マッチ一本でやり、ふっくらな米にできあがりました。

★谷戸のとれたてやさいのみそしるがおいしかったです。やさいのみそしるのぐにのっているじゃがいもが、ほくほくしてておいしかったです。

★谷戸清掃グループでわらを切つて田んぼにまいたり、おち葉をあつめたりしました。休憩中に野菜をつまみ食いして力が出ました。

★お米をとぐときに、といた水を捨てずに再利用していることにおどろきました。昔の人達は今よりも水を大切に使用していたそうです。

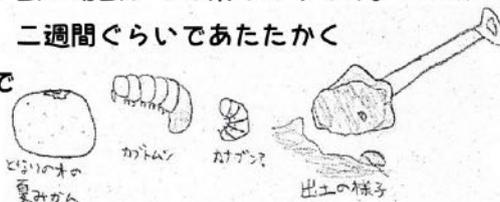
★一年間米を育てて、自分達で育てた米って、こんなにおいしいんだと思いました。



教育支援教室ひだまり 堆肥作り 1/14

★堆肥は、わらやおち葉、水、ぬかを積んでいって、米ぬかが、ひ生物のえさになって、食べてはっこうして、あたたかくなって、カブトムシや小さい虫の幼虫よって来るそうです。こんかい一番びっくりしたのは、二週間ぐらいであたたか

くなって、四十度まであがるということです。



教育支援教室ひだまり 堆肥撒き 2/4

★たい肥の土のなかまで手で触るとあたたかかったです。次に大麦の畑を見に行きました。そこで大麦がういてこないように、少しずつ幅をずらしてふんでいきました。

★堆肥作りをしといたものを畑にまき、それに湧き水をかけることを3、4回くりかえしました。一番大変だったのはバケツで水を運んだことです。

3月

- 1日(日) 田 道具の手入れ ☆
畑 道具の手入れ ☆
雑 山作業道具の手入れ ♣ ☆
- 4日(水) 植 早春の植物の観察 ♣
- 8日(日) 田 畔直し、むしろ編み
雑 雑木林の除間伐 ♣
- 9日(月) 畑 さつまいもの洞だし、
伏せ込み ☆
- 11日(水) 生 オタマジャクシの観察 ♣
- 15日(日) 田 畔、水口直し、苗代整備 ☆
雑 雑木林の除間伐
自 父と子の里山体験 🚩
「谷戸の杉で、
おはしを作ろう！」
かまくらレンジャーズ
- 16日(月) 畑 じゃがいもの植付け ♣
- 22日(日) 田 浸種、苗代整備
- 29日(日) 田 畔、水口直し、種籾蒔き
雑 斧で薪割り
講座「紙漉き」☆

4月

- 5日(日) 田 種籾蒔き(隠田)
雑 竹林の整備 ♣ ☆
- 8日(水) 畑 畑の整備
植 春の植物の観察 ♣
- 12日(日) オリエンテーション
10時~管理棟2階
田 田うない ☆
- 13日(月) 畑 さといも植付けの準備
- 15日(水) 生 春のチョウと野鳥観察
- 19日(日) 田 田うない、畔草刈り ♣
自 里山探検隊「田うない」
- 20日(月) 畑 さといも植付け ♣
- 25日(土) 春の谷戸まつり
雑 杉の皮むき
- 26日(日) 田 くろつけ



5月

- 2日(土) 田 くろつけ、苗代草取り ☆
- 3日(日) 田 くろつけ、苗代草取り
講座「谷戸の茶摘み」☆
- 9日(土) 子ども里山体験
- 10日(日) 田 くろつけ、しろかき、苗代草取り
- 11日(月) 畑 畑の整備 ♣
- 13日(水) 生 初夏のチョウと野鳥観察
- 16日(土) 田 しろかき
- 17日(日) 田 しろかき、紐張り、畔草刈り ☆
- 18日(月) 畑 さつまいも苗植えの準備 ☆
- 20日(水) 畑 さつまいもの苗植え ☆
植 帰化植物の除去作業
- 22日(金) 農 紙漉き ♣
- 23日(土) 田 苗取り、田植え、紐張り ☆
- 24日(日) 田 苗取り、田植え、紐張り ♣
自 里山探検隊
「春の谷戸しごと(田植え)」
総会 14時~
- 25日(月) 畑 落花生の種蒔き ♣
- 30日(土) 田 苗取り、田植え ♣
生 夜の自然パトロール ♣
- 31日(日) 田 苗取り、田植え、苗代しろかき ☆

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験
🚩 非会員 参加費500円/1組
(申し込みは、ホームページより)

<集合時間・集合場所>

■各班活動 時間:9:30 場所:農家風休憩舎
(農芸班、自然遊び班は、10時~)

■夜の自然パトロール 19:00~20:30頃まで
場所:山崎ロしいし前集合

<お問い合わせ>

住所: 〒247-0066
鎌倉市山崎1667鎌倉中央公園管理事務所内
TEL: 0467-47-1164 (木曜を除く10時~16時)

ホームページ:
<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

メールアドレス:
ya-yato@arrow.ocn.ne.jp



QRコード
からHPに
アクセス!

次号(会報133号):2026年5月発行予定
会費:郵便振替口座番号 00270-6-115647

田 田んぼ班 畑 畑班
雑 雑木林管理班 農 農芸班
自 自然遊び班 生 生態系保全班
植 植物育成班